

2018年2月28日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部



B to B 産業技術の展示会にジャパンパビリオン登場！

HANNOVER MESSE 2018

～日本のコネクテッド・インダストリー技術・ソリューションを世界へ発信～

最新の産業技術・製品が一堂に会する世界最大のB to B専門展示会「HANNOVER MESSE（ハノーバーメッセ）」が、2018年4月23日（月）～27日（金）に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます。（主催：ドイツメッセ株式会社／ドイツ・ハノーバー）

本展には世界中の政治家や実業界のリーダーが来場し、オートメーションやロボティクス、ソフトウェアおよびIT、動力伝達および流体技術から、統合エネルギーシステム、業務委託や軽量設計、研究開発に至るまで広範にわたる産業技術が展示されます。

インダストリー4.0を打ち出したドイツが誇る本展は、最新の技術・ソリューションが一堂に会する場であり、メーカーのみならず、プラットフォーム・インダストリー4.0（ドイツ）、インダストリアル・インターネット・コンソーシアム（アメリカ）、ビジネスフランス（フランス）他、各国のインダストリー4.0推進機関・団体もパビリオンを設置しています。このたびは日本からもコネクテッド・インダストリー技術・ソリューションを発信すべく、一般社団法人日本能率協会（JMA）ならびにロボット革命イニシアティブ協議会（RRI）が共同にてパビリオンを設置し、6社が出展します。

日本企業の出展社数は82社（同時開催展である物流の展示会CeMAT（セマツト）の出展者数6社含む）です。

【本件に関するお問い合わせ】 一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部
担当：竹生（たけお）、大津（おおつ）

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 / E-Mail: DMS@jma.or.jp / Tel: 03-3434-6447
※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

◆メインテーマ：“Integrated Industry – Connect & Collaborate”

デジタル上での統合なくして、スマート工場において重要な二つの要因である人と機械を以て、高いパフォーマンスを導くことはできません。オートメーション技術、ITプラットフォーム、機械学習を統合することこそが、2011年から提唱されているインダストリー4.0を次の段階へ進めるキーとなります。工場技術の効率化、産業ITプラットフォームの市場化、デジタル上での製造業バリューチェーンへの下請け企業の内包化、機械学習を通じた機械とロボットの自律運転等、製造現場の環境は近年急速に変化しています。Hannover Messe 2018では、このような変化をもたらした最新オートメーション技術、ロボット、IT・ソフトウェアを始めとする著名なメーカーが出揃っており、来場者はインダストリー4.0の最先端技術・トレンドをいち早く体験することができます。

◆物流の展示会CeMAT（セマツ）との初めての同時開催

物流業界においても、工程管理と効率化の観点からデジタル化は重要視されています。小売りのオンライン化が進む昨今において、その重要性は年々高まっています。近年、デジタル化技術の恩恵を受け、製造業と物流業の垣根が低くなり、両者の繋がりはより強固になっています。来場者は今回初めてHannover Messeと同時開催する、物流の展示会CeMAT（セマツ）において、製造と物流の集約化を体感することができるでしょう。

◆Digital Factory

ソフトウェアとITソリューションによる製造工程の統合とネットワーキングが製造現場のデジタル化への移行プロセスの中核をなすため、Digital Factoryには多くの来場者が訪れます。アディティブマニュファクチャリング（Additive Manufacturing, AM）、CAD/CAM、製造実行システム（Manufacturing Execution System, MES）、基幹システム（Enterprise Resources Planning, ERP）、製品ライフサイクル管理（Product Life-cycle Management, PLM）に注目が集まる他、拡張現実（Augmented Reality, AR）、AI、機械学習、ビッグデータ分析、産業ITプラットフォームにも関心が注がれています。

また、デジタル化を受けて膨らむデータ処理にも高い関心が寄せられています。Amazon Web Services、IBM、Microsoft等が、機械学習とビッグデータ分析ソリューションにて製造業に必要なソリューションを提供します。

◆IAMD(Integrated Automation, Motion and Drives)

Hannover Messe 2018には、ABB、エプソン、川崎重工業、KUKA、三菱電機、Schunk、Stäubli、Universal Robots、Franka Emika、安川電機等、ロボットメーカー、システムインテグレーター、操作システムのプロバイダーを始めロボット産業に関わる企業が網羅されています。これは現在の製造現場においてロボットおよびAGVが重要な位置を占めている状況を反映しています。製造現場に産業ロボット、モバイルロボット、AGV、イメージプロセッシングソリューションが導入されることにより、製造現場における人と機械の協働が進み、更なる技術革新により、中小企業にも導入の裾野が広がっています。最新の製品展示の他、モバイルロボットとオートメーション技術の企画展示「Automation & Vision Application Park」、ロボティクス、オートメーション、イメージプロセッシングをテーマにした「Automation Forum」、ロボットソリューションを対象にした賞「Robotics Award」等、イベント・セミナーも開催されます。

◆Industrial Supply

Industrial Supplyの分野でも、デジタル化は製品の供給および製品そのものの改良に貢献しています。デジタル化の導入は、必要な時、必要な量を都度受注できるようになる、製品開発時に顧客とリアルタイムでCADデータをやり取りすることにより細かい要望を反映しやすくなる等、サプライヤーに利点があるだけでなく、メーカー側にも開発期間を短縮でき、市場へもより速く展開できるため、競争力が高まるという利益をもたらします。また、全工程をデジタル化すると、品質とトレーサビリティを保証することができるという利点もあります。

Industrial Supplyのもう一つのトレンドは軽量化です。新技術により、軽量であるだけでなく、頑丈さ、耐熱、静音等、付加価値を持つ製品が次々と打ち出されています。会場内には軽量化をテーマにしたパビリオン「Lightweight Construction from the State of Baden-Wuerttemberg」も登場し、16社が出展します。

◆Energy

デジタル化はエネルギー産業にも構造変化をもたらしています。新技術は発電システムを効率化し、異業種間での相互連携を可能にし、新規参入を呼び込みました。Hannover Messe 2018に出展している様々な省エネルギーソリューションは企業のコストダウンを実現し、環境保護にも寄与します。その他、持続可能なエネルギーシステムへの転換に必要とされる、様々な技術にも触れることができます。また、デジタル化と併せてトレンドとなっているのは分散化です。コージェネレーションモジュール（CHP）に新たな技術が導入されたことにより、大きな発電所から消費地に運ぶのではなく、消費地にて発電・送電する仕組みが整いつつあります。コージェネレーションモジュールは従来、北ヨーロッパを中心とした地域の暖房に使われていましたが、新しい技術の導入により広範に活用され、環境にやさしい、再生可能なエネルギー利用を推進することが期待されています。

今年のパートナーカントリーであるメキシコは、Energyゾーンであるホール27にパビリオンを設置します。エネルギー消費が急増する同国では、国策として再生可能エネルギーへの転換が推進した結果、エネルギー分野への投資が増えており、エネルギー政策を重要課題とみなしています。

Hannover Messeの会場内で毎年開催されている日独経済フォーラム（German Japanese Economic Forum）は会場をホール27に設置し、「Decarbonization of Mobility – Hydrogen and Electric Transport Systems as Solutions?」をテーマとする、セミナー、パネルディスカッションを開催します。

HANNOVER MESSE 2018

開催概要

会 期：2018年4月23日（月）～27日（金）9:00～18:00

会 場：ハノーバー国際見本市会場（Messegelände, 30521 Hannover, Germany）

主催・運営：ドイツメッセ株式会社（Deutsche Messe AG）

所在地：Messegelände, 30521 Hannover, Germany Tel : +49 511 89-0

E-mail : info@messe.de ホームページ : www.messe.de

同時開催：物流の展示会CeMAT（セマツト）

パートナーカントリー：メキシコ

展示内容：Integrated Automation, Motion & Drives (IAMD); Digital Factory; Energy; Industrial Supply; Research & Technology

メインテーマ：Integrated Industry – Connect & Collaborate

出展者：約70カ国から約5,000社が出展予定

入場料金：ドイツメッセ日本代表部ホームページにて販売中

(http://www.jma.or.jp/dms/ticket_form/ 4月10日（火）まで)

1日券（One-day admission）：5,000円

通し券（Full-event admission）：10,000円

※前売り券の購入（ユーロ）は、Hannover Messe公式ホームページでも購入可能です
(www.hannovermesse.de/de/tickets) まで

2017年実績 ※隔年開催のComVacならびにMotion, Drives and Automationが開催されたため、全ホール使用

会期：2017年4月24日（月）～28日（金）

会場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

パートナーカントリー：ポーランド

■来場者: 225,000人

－30%がドイツ国外からの来場

－パートナーカントリーからの来場者：5,000人

■出展者：6,500社（約70カ国・地域）

－60%がドイツ国外からの出展者

－パートナーカントリーからの来場者数：200社

－ビジネスコンタクト数：560万件

－スタートアップの出展：150社

－500点のインダストリー4.0関連製品

－日本からの出展：79社（海外現地法人含）

iCAD、愛知時計電機、アイファ電気商会、明石合銅、アスカネット、アネスト岩田、新井工業、飯塚製作所、稲畑産業、イワキ、WELCON、NC ネットワーク、江沼チェーン製作所、エプソン、荏原製作所、オムロン、オイレス工業、川崎重工業、カワソーテクセル、キーエンス、京セラファインセラミックス、神戸製鋼所、コニカミノルタ、サクラテック、ジェイアンドシー、ジェイテクト、CKD、杉本織物、図研、住友重機械工業、住友理工、タイカ、高石工業、たけびし、CHAdemo 協議会、THK、TDK、テクノ高槻、東亜鍛工所、東海アヅミテクノ、東京ウエルズ、徳島県、トヨタマテリアルハンドリングヨーロッパ、トレンドマイクロ、日東化成工業、日本アキュムレータ、日本航空電子工業、日本トムソン、日本電産シンポ、日本ベアリング、能瀬精工、パナソニックマーケティングヨーロッパ、日立製作所、廣瀬バルブ工業、ファナック、不二越、不二ラテックス、ミスミ、三菱電機、三ツ星ベルト、安川電機、山岸製作所、油研工業、横河電機、横浜ゴム、ライン精工